

ベルサイユ条約

第一次世界大戦は連合国側の勝利に終わり,
1919年にパリで講和会議が開かれ
ベルサイユ条約が結ばれた

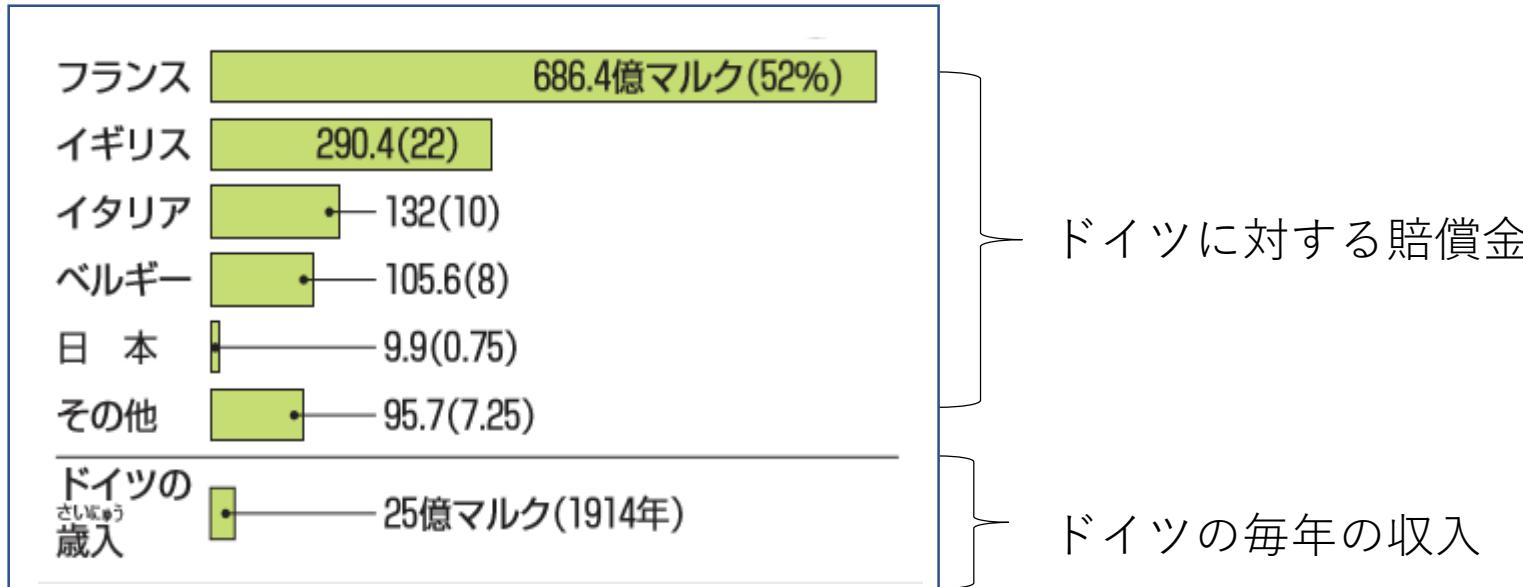


同盟国側の中心であったドイツはすべての植民地と
本国の一部の領土を失い、巨額の賠償金を支払うことになった

① ベルサイユ条約の調印

ベルサイユ宮殿で行われました。手前のいすにすわる
ドイツの代表が署名しています。

ドイツの賠償金



ドイツは毎年の収入の何倍もの賠償金を支払わされ、各国への不満をいだくきっかけとなりました

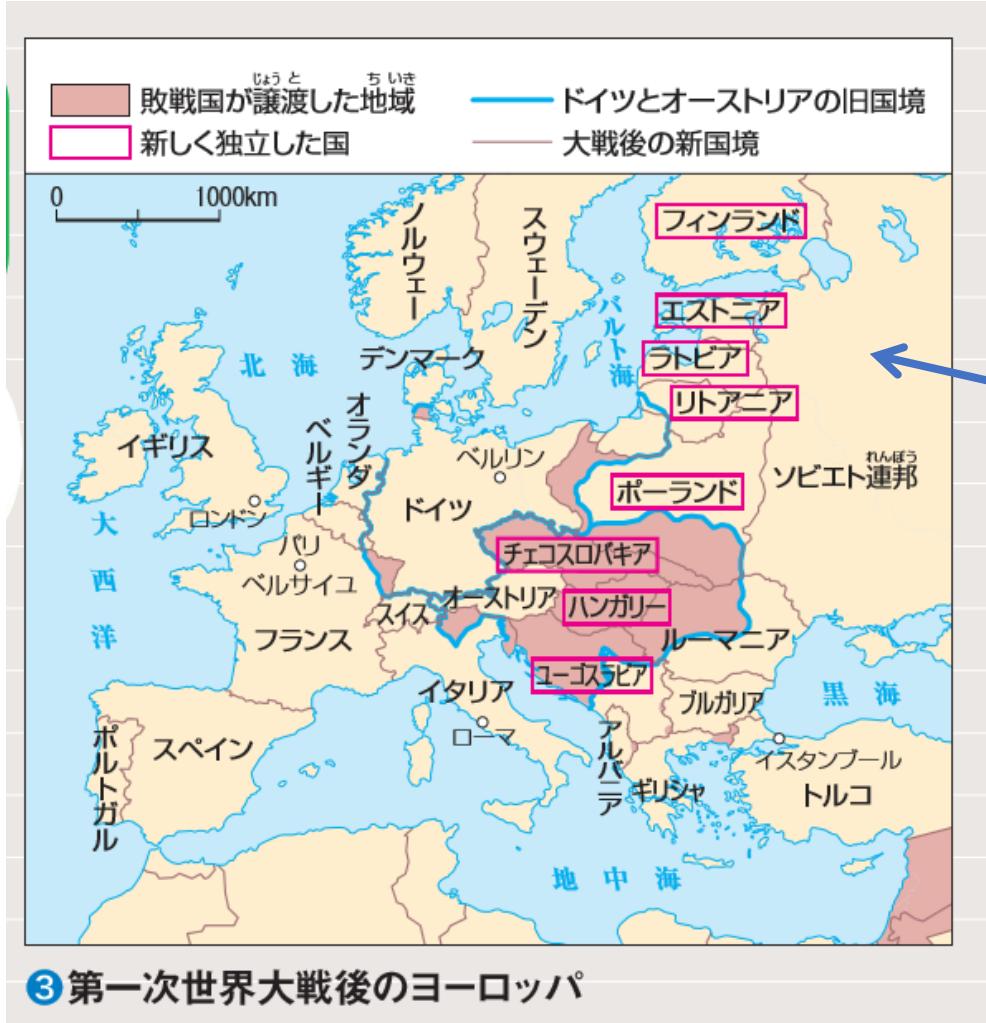
国際連盟の設立

アメリカの大統領威尔ソンは、第一次大戦の反省を各国に呼びかけ平和を守るための組織として**国際連盟**を設立を決定しました

- ・アメリカ ⇒ **議会**の反対で参加せず
- ・ドイツ ⇒ **敗戦**国であり、参加認められず
- ・ソ連 ⇒ **革命**後の混乱で参加せず

言い出しちゃのアメリカ自体が不参加であったり、ベルサイユ条約でドイツから領土をうばい賠償金を支払わせたイギリスやフランスもあまり積極的に参加しなかったため平和を守るには不十分な組織だった

第一次世界大戦後のヨーロッパ



wilson大統領は平和に関する14か条の提案の中で自分たちの**民族**のことは**自分たちで決めよう**という**民族自決**をうったえました

東ヨーロッパには多くの独立国が誕生、民族自決を実現

アジアやアフリカの植民地では独立は認められず、民族自決は実現しませんでした

第一次世界大戦中に戦争に協力すれば、戦後には植民地から解放してもらえると約束していたアジア・アフリカの国々の中には支配に抵抗する民族運動が広がりました
その具体的な内容は・・・

インドの民族運動



④ **ガンディー** (1869~1948) インドは、戦後の自治を認めるというイギリスの約束を信じ、多くの兵士を戦場に送りました。しかし、約束が守られず、ガンディーたちは、イギリスに対する非暴力・不服従の抵抗運動を起こしました。写真は近代文明を批判し、手作業で糸をつむいでいるところです。

イギリスの植民地であったインドでは、
ガンディーの指導により独立を求め、
非暴力・不服従の抵抗運動が起こりました

中国の民族運動

⑥五・四運動
(1919年) 北京の天安門前で開かれた国民大会のようすです。



中国でもパリ講和会議で第一次世界大戦中に日本が中国に突きつけた二十一か条の要求が取り消されたため、ベルサイユ条約に反対する運動が1919年5月4日、北京を中心に起こる。

この運動を**五・四運動**という

朝鮮の民族運動



⑤三・一独立運動に参加し行進する女学生たち(1919年)

1910年の韓国併合で日本の植民地となった韓国でも1919年3月1日に日本からの独立を求める運動が起こる。この運動を**三・一独立運動**という

ワシントン会議

条約名	主な内容
四か国条約 (日・米・英・仏)	日英同盟の廃止
海軍軍縮条約	主力艦 ^{かん} (戦艦など)の保有量 の割合 ^{わりあい} を米5, 英5, 日3, 仏1.67, 伊1.67と定めた
九か国条約	中国の主権尊重 ^{けいざい} , 各国の中 国での経済活動の自由

第一次世界大戦を反省して, アメリカのよびかけて各
国の持つ軍隊の装備を減らしていくためにアメリカで
ワシントン会議で開かれました

日本・イギリス・アメリカ・フランスの
4か国の間で結ばれた四か国条約のなか
で**日英同盟の廃止**が決定しました

⑨ワシントン会議で結ばれた条約(1921~)